

令和6年度学校評価(めざす学校像・教職員アンケート)

学校経営の重点		評価項目	
教育方針	めざす学校像		
障害のある児童生徒が、自分らしく生き、社会で共に生きる力を育むために、学校(「ひめとく」)に関わる人が、教育課題等を共有・共感し、共鳴して連携・協働、切磋琢磨し、共に育っていくことができる学校づくりを実現する。	1 児童生徒にとって安心安全で学び、生活できる学校	1	人権教育を推進し、児童生徒の人権が守られるよう取り組んでいる。
		2	児童生徒の障害や発達特性、発達年齢に配慮した適切な言葉かけや関わりに取り組んでいる。
		3	いじめの未然防止に取り組み、いじめが発生したときは組織として対応している。
		4	防災教育を推進し、避難訓練やマニュアル作成等の防災体制の整備に取り組んでいる。
		5	健康管理に関する教育や活動を推進し、児童生徒の健康管理に取り組んでいる。
		6	感染症拡大防止やアレルギー対応に取り組んでいる。
		7	児童生徒が安全に学習や生活できるよう環境整備に取り組んでいる。
	2 児童生徒一人一人が大切にされ、質の高い教育が行われ、健全な発達・成長がでる学校	8	個別の指導計画作成のマニュアルを作成し、児童生徒の実態把握を行い、三観点(知・思・主)を踏まえた目標を設定して適切な指導を行い、評価を行っている。
		9	実態把握シートを活用し、児童生徒や保護者の教育的ニーズに応じた必要な支援を行っている。
		10	教育課程編成や研究推進により、主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくりに取り組んでいる。
		11	自立活動の6区分を踏まえ、児童生徒のニーズに応じ、時間設定等計画的に取り組んでいる。
		12	ICT教育の環境整備や研修を進め、効果的な指導が行えるように取り組んでいる。
		13	キャリア発達段階表を活用した授業づくりや生活指導を行い、キャリア教育や進路指導に取り組んでいる。
		14	生活のルールやマナーを順守する力を育む指導や支援に取り組んでいる。
		15	外部講師を活用し、児童生徒の実態やニーズに応じた指導や支援体制づくりに取り組んでいる。
学校教育目標	3 保護者に丁寧かつ誠実に対応し、地域や関係機関には連携・協働すること信頼される学校	16	保護者懇談や授業参観、一斉メールの活用等、保護者に随時必要な情報提供や意見交換を行っている。
1 児童生徒が、主体的によく学び、よく考え、判断し、表現・活動する意欲と力を高め、自分らしく生きる力を育む。		17	保護者や地域の方からの連絡や意見等に誠実かつ丁寧に対応している。
		18	学校HPやオープンスクール等で教育活動等について情報提供を行い、理解啓発活動に取り組んでいる。
		19	地域の学校園やその児童生徒、保護者に対し、教育相談や研修等のセンター的機能の役割を發揮している。
		20	居住地校交流や学校間交流を充実させるために、連絡を取り合い計画的に取り組んでいる。
		21	コミュニティ・スクールによる地域の方との交流や地域の施設を利用した教育活動に取り組んでいる。
		22	関係機関と連携してケース会議を開催する等、児童生徒の課題に対応している。
	2 児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。	4 児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共	23
24			目標や教育課題に対し、各学級、学年、学部、校務部、委員会等で連携・協働できている。
25			職員会議や各種会議で児童生徒や教育課題について情報共有や意見交換が行われている。
26			グループウェアやTeams等により必要な情報が共有されている。
5 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校		27	特別支援教育の専門性や実践的指導力を向上させるために研修計画を立て、実施している。
		28	業務改善により勤務時間の適正化が図られ、児童生徒に向き合える時間が増えている。
		29	ハラスメント防止や衛生委員会による職場改善等働きがいのある職場づくりに取り組んでいる。
		30	服務規律の順守や非遵行為がないように教育公務員としての自覚を意識して職務に取り組んでいる。

(めざす学校像・教職員アンケート)

	小学部								中学部								高等部							
	A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)	A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)	A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)
1	60%	37%	3%	0%	0%	3.6	A	A	69%	25%	6%	0%	0%	3.6	A	A	67%	29%	4%	0%	0%	3.6	A	A
2	77%	23%	0%	0%	0%	3.8	A		69%	31%	0%	0%	0%	3.7	A		67%	29%	4%	0%	0%	3.6	A	
3	60%	40%	0%	0%	0%	3.6	A	B	63%	31%	6%	0%	0%	3.6	A	A	79%	21%	0%	0%	0%	3.8	A	A
4	67%	30%	3%	0%	0%	3.6	A	B	63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	B	58%	42%	0%	0%	0%	3.6	A	B
5	63%	33%	3%	0%	0%	3.6	A		69%	25%	6%	0%	0%	3.6	A		54%	38%	8%	0%	0%	3.5	B	
6	60%	40%	0%	0%	0%	3.6	A		63%	31%	6%	0%	0%	3.6	A		79%	21%	0%	0%	0%	3.8	A	
7	43%	33%	17%	7%	0%	3.1	B		50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A		46%	42%	13%	0%	0%	3.3	B	
8	53%	47%	0%	0%	0%	3.5	A		63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A		79%	21%	0%	0%	0%	3.8	A	
9	50%	43%	3%	3%	0%	3.4	B		50%	44%	0%	6%	0%	3.4	B		42%	54%	4%	0%	0%	3.4	B	
10	50%	47%	3%	0%	0%	3.5	B		50%	38%	13%	0%	0%	3.4	B		46%	50%	4%	0%	0%	3.4	B	
11	57%	40%	3%	0%	0%	3.5	A		50%	44%	6%	0%	0%	3.4	B		38%	54%	8%	0%	0%	3.3	B	
12	40%	57%	3%	0%	0%	3.4	B	B	63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	B	63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	B
13	17%	67%	13%	3%	0%	3.0	B	B	50%	38%	13%	0%	0%	3.4	B	B	42%	54%	4%	0%	0%	3.4	B	B
14	77%	20%	3%	0%	0%	3.7	A	B	63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	B	75%	21%	4%	0%	0%	3.7	A	A
15	43%	37%	20%	0%	0%	3.2	B		38%	44%	19%	0%	0%	3.2	B		63%	33%	4%	0%	0%	3.6	A	
16	57%	37%	7%	0%	0%	3.5	A	B	69%	31%	0%	0%	0%	3.7	A	B	75%	25%	0%	0%	0%	3.8	A	A
17	70%	27%	3%	0%	0%	3.7	A		81%	19%	0%	0%	0%	3.8	A		79%	21%	0%	0%	0%	3.8	A	
18	57%	43%	0%	0%	0%	3.6	A		56%	44%	0%	0%	0%	3.6	A		54%	33%	8%	4%	0%	3.4	B	
19	40%	53%	7%	0%	0%	3.3	B		50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A		54%	46%	0%	0%	0%	3.5	A	
20	77%	20%	3%	0%	0%	3.7	A		75%	25%	0%	0%	0%	3.8	A		63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	
21	50%	47%	3%	0%	0%	3.5	B		50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A		50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	
22	70%	30%	0%	0%	0%	3.7	A		69%	31%	0%	0%	0%	3.7	A		75%	25%	0%	0%	0%	3.8	A	
23	70%	27%	3%	0%	0%	3.7	A		69%	31%	0%	0%	0%	3.7	A		71%	25%	4%	0%	0%	3.7	A	
24	50%	47%	3%	0%	0%	3.5	B	B	63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	B	50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	B
25	40%	57%	3%	0%	0%	3.4	B		50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A		54%	42%	4%	0%	0%	3.5	A	
26	53%	47%	0%	0%	0%	3.5	A		75%	25%	0%	0%	0%	3.8	A		63%	33%	4%	0%	0%	3.6	A	
27	50%	47%	0%	3%	0%	3.4	B	B	56%	44%	0%	0%	0%	3.6	A	B	54%	46%	0%	0%	0%	3.5	A	B
28	33%	40%	23%	3%	0%	3.0	B		44%	50%	6%	0%	0%	3.4	B		21%	42%	25%	13%	0%	2.7	B	
29	30%	50%	13%	7%	0%	3.0	B		38%	56%	6%	0%	0%	3.3	B		21%	46%	29%	4%	0%	2.8	B	
30	73%	27%	0%	0%	0%	3.7	A		63%	38%	0%	0%	0%	3.6	A		71%	25%	4%	0%	0%	3.7	A	

令和6年度学校評価(めざす学校像・教職員アンケート)

学校経営の重点		評価項目	学部所属外						本校全体											
教育方針	めざす学校像		A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)	A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)		
障害のある児童生徒が、自分らしく生き、社会で共に生きる力を育むために、学校(「ひめとく」)に関わる人が、教育課題等を共有・共感し、共鳴して連携・協働、切磋琢磨し、共に育っていくことができる学校づくりを実現する。	1 児童生徒にとって安心安全で学び、生活できる学校	1	人権教育を推進し、児童生徒の人権が守られるよう取り組んでいる。	43%	29%	29%	0%	0%	3.1	B	A	60%	30%	11%	0%	0%	3.5	B		
		2	児童生徒の障害や発達特性、発達年齢に配慮した適切な言葉かけや関わりに取り組んでいる。	43%	43%	14%	0%	0%	3.3	B			64%	32%	5%	0%	0%	3.6	A	
		3	いじめの未然防止に取り組み、いじめが発生したときは組織として対応している。	57%	29%	14%	0%	0%	3.4	B	B			65%	30%	5%	0%	0%	3.6	A
		4	防災教育を推進し、避難訓練やマニュアル作成等の防災体制の整備に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	B			72%	27%	1%	0%	0%	3.7	A
		5	健康管理に関する教育や活動を推進し、児童生徒の健康管理に取り組んでいる。	71%	29%	0%	0%	0%	3.7	A				64%	31%	4%	0%	0%	3.6	A
		6	感染症拡大防止やアレルギー対応に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A				75%	23%	2%	0%	0%	3.7	A
		7	児童生徒が安全に学習や生活できるよう環境整備に取り組んでいる。	71%	29%	0%	0%	0%	3.7	A				53%	38%	7%	2%	0%	3.4	B
	2 児童生徒一人一人が大切にされ、質の高い教育が行われ、健全な発達・成長ができる学校	8	個別の指導計画作成のマニュアルを作成し、児童生徒の実態把握を行い、三観点(知・思・主)を踏まえた目標を設定して適切な指導を行い、評価を行っている。	57%	43%	0%	0%	0%	3.6	A				63%	37%	0%	0%	0%	3.6	A
		9	実態把握シートを活用し、児童生徒や保護者の教育的ニーズに応じた必要な支援を行っている。	43%	43%	14%	0%	0%	3.3	B				46%	46%	5%	2%	0%	3.4	B
		10	教育課程編成や研究推進により、主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくりに取り組んでいる。	43%	57%	0%	0%	0%	3.4	B				47%	48%	5%	0%	0%	3.4	B
		11	自立活動の6区分を踏まえ、児童生徒のニーズに応じ、時間設定等計画的に取り組んでいる。	43%	43%	14%	0%	0%	3.3	B				47%	45%	8%	0%	0%	3.4	B
		12	ICT教育の環境整備や研修を進め、効果的な指導が行えるように取り組んでいる。	43%	57%	0%	0%	0%	3.4	B	B			52%	47%	1%	0%	0%	3.5	A
		13	キャリア発達段階表を活用した授業づくりや生活指導を行い、キャリア教育や進路指導に取り組んでいる。	14%	57%	29%	0%	0%	2.9	B	B			31%	54%	15%	1%	0%	3.1	B
		14	生活のルールやマナーを順守する力を育む指導や支援に取り組んでいる。	57%	29%	14%	0%	0%	3.4	B	A			68%	27%	5%	0%	0%	3.6	A
		15	外部講師を活用し、児童生徒の実態やニーズに応じた指導や支援体制づくりに取り組んでいる。	71%	29%	0%	0%	0%	3.7	A				54%	36%	11%	0%	0%	3.4	B
学校教育目標	3 保護者に丁寧かつ誠実に対応し、地域や関係機関には連携・協働することで信頼される学校	16	保護者懇談や授業参観、一斉メールの活用等、保護者に随時必要な情報提供や意見交換を行っている。	71%	29%	0%	0%	0%	3.7	A	B	68%	30%	2%	0%	0%	3.7	A		
17		保護者や地域の方からの連絡や意見等に誠実かつ丁寧に対応している。	57%	43%	0%	0%	0%	3.6	A			72%	27%	1%	0%	0%	3.7	A		
18		学校HPやオープンスクール等で教育活動等について情報提供を行い、理解啓発活動に取り組んでいる。	57%	29%	14%	4%	0%	3.5	B			56%	37%	6%	2%	0%	3.5	B		
19		地域の学校園やその児童生徒、保護者に対し、教育相談や研修等のセンター的機能の役割を發揮している。	57%	29%	14%	0%	0%	3.4	B			50%	44%	5%	0%	0%	3.5	B		
20		居住地校交流や学校間交流を充実させるために、連絡を取り合い計画的に取り組んでいる。	57%	29%	14%	0%	0%	3.4	B			68%	28%	4%	0%	0%	3.6	A		
21		コミュニティ・スクールによる地域の方との交流や地域の施設を利用した教育活動に取り組んでいる。	57%	29%	14%	0%	0%	3.4	B			52%	44%	4%	0%	0%	3.5	B		
22		関係機関と連携してケース会議を開催する等、児童生徒の課題に対応している。	57%	29%	14%	0%	0%	3.4	B			68%	29%	4%	0%	0%	3.6	A		
2 児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。	4 児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共	23	児童生徒の教育課題や問題行動等について教職員間で情報共有され、チームで対応できている。	43%	29%	29%	0%	0%	3.1	B			63%	28%	9%	0%	0%	3.5	A	
		24	目標や教育課題に対し、各学級、学年、学部、校務部、委員会等で連携・協働できている。	43%	29%	29%	0%	0%	3.1	B	B			51%	41%	8%	0%	0%	3.4	B
		25	職員会議や各種会議で児童生徒や教育課題について情報共有や意見交換が行われている。	43%	43%	14%	0%	0%	3.3	B				47%	48%	5%	0%	0%	3.4	B
		26	グループウェアやTeams等により必要な情報が共有されている。	71%	14%	14%	0%	0%	3.6	A				66%	30%	5%	0%	0%	3.6	A
	5 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校	27	特別支援教育の専門性や実践的指導力を向上させるために研修計画を立て、実施している。	29%	71%	0%	0%	0%	3.3	B	B			47%	52%	0%	1%	0%	3.5	B
		28	業務改善により勤務時間の適正化が図られ、児童生徒に向き合える時間が増えている。	14%	43%	29%	13%	0%	2.6	B			28%	44%	21%	7%	0%	2.9	B	
		29	ハラスメント防止や衛生委員会による職場改善等働きがいのある職場づくりに取り組んでいる。	14%	57%	29%	4%	0%	2.9	B			26%	52%	19%	4%	0%	3.0	B	
		30	服務規律の順守や非違行為がないように教育公務員としての自覚を意識して職務に取り組んでいる。	43%	57%	0%	0%	0%	3.4	B			62%	37%	1%	0%	0%	3.6	A	

評価はA(高い)→D(低い)の順になっており、A(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)の4段階評価を基に、算出しています。達成状況は4点満点の評価点で、3.5以上をA、3.4~2.5をB、2.4以下をCとしています。

令和6年度学校評価(めざす学校像・教職員アンケート)

学校経営の重点		評価項目	分教室									訪問教育部									全 体								
教育方針	めざす学校像		A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)	A	B	C	D	N/A 無回	評価	達成状況	昨年 (R5)	A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)			
障害のある児童生徒が、自分らしく生き、社会で共に生きる力を育むために、学校(「ひめとく」)に関わる人が、教育課題等を共有・共感し、共鳴して連携・協働、切磋琢磨し、共に育っていくことができる学校づくりを実現する。	1 児童生徒にとって安心安全で学び、生活できる学校	1 人権教育を推進し、児童生徒の人権が守られるよう取り組んでいる。	1	50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	B	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	A	59%	34%	7%	0%	0%	3.5	A	A		
		2 児童生徒の障害や発達特性、発達年齢に配慮した適切な言葉かけや関わりに取り組んでいる。	2	40%	60%	0%	0%	0%	3.4	B	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	60%	37%	3%	0%	0%	3.6	A					
		3 いじめの未然防止に取り組み、いじめが発生したときは組織として対応している。	3	50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	B	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	B	63%	34%	3%	0%	0%	3.6	A	B		
		4 防災教育を推進し、避難訓練やマニュアル作成等の防災体制の整備に取り組んでいる。	4	30%	60%	10%	0%	0%	3.2	B	B	0%	67%	33%	0%	0%	2.7	B	C	53%	39%	8%	0%	0%	3.5	B	B		
		5 健康管理に関する教育や活動を推進し、児童生徒の健康管理に取り組んでいる。	5	50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	33%	67%	0%	0%	0%	3.3	B	57%	40%	3%	0%	0%	3.5	A					
		6 感染症拡大防止やアレルギー対応に取り組んでいる。	6	70%	30%	0%	0%	0%	3.7	A	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	73%	26%	1%	0%	0%	3.7	A					
		7 児童生徒が安全に学習や生活できるよう環境整備に取り組んでいる。	7	50%	40%	10%	0%	0%	3.4	B	33%	67%	0%	0%	0%	3.3	B	49%	43%	7%	1%	0%	3.4	B					
	2 児童生徒一人一人が大切にされ、質の高い教育が行われ、健全な発達・成長がでる学校	8 個別の指導計画作成のマニュアルを作成し、児童生徒の実態把握を行い、三観点(知・思・主)を踏まえた目標を設定して適切な指導を行い、評価を行っている。	8	80%	20%	0%	0%	0%	3.8	A	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	66%	34%	0%	0%	0%	3.7	A					
		9 実態把握シートを活用し、児童生徒や保護者の教育的ニーズに応じた必要な支援を行っている。	9	50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	56%	39%	4%	2%	0%	3.5	B					
		10 教育課程編成や研究推進により、主体的・対話的で深い学びの視点による授業づくりに取り組んでいる。	10	40%	60%	0%	0%	0%	3.4	B	33%	67%	0%	0%	0%	3.3	B	44%	53%	3%	0%	0%	3.4	B					
		11 自立活動の6区分を踏まえ、児童生徒のニーズに応じ、時間設定等計画的に取り組んでいる。	11	40%	40%	20%	0%	0%	3.2	B	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	49%	42%	9%	0%	0%	3.4	B					
		12 ICT教育の環境整備や研修を進め、効果的な指導が行えるように取り組んでいる。	12	50%	40%	10%	0%	0%	3.4	B	B	0%	100%	0%	0%	0%	3.0	B	A	43%	55%	2%	0%	0%	3.4	B	B		
		13 キャリア発達段階表を活用した授業づくりや生活指導を行い、キャリア教育や進路指導に取り組んでいる。	13	60%	30%	10%	0%	0%	3.5	A	B	0%	67%	33%	0%	0%	2.7	B	B	30%	52%	17%	1%	0%	3.1	B	B		
		14 生活のルールやマナーを順守する力を育む指導や支援に取り組んでいる。	14	80%	20%	0%	0%	0%	3.8	A	A	0%	67%	33%	0%	0%	2.7	B	A	59%	32%	9%	0%	0%	3.5	B	B		
		15 外部講師を活用し、児童生徒の実態やニーズに応じた指導や支援体制づくりに取り組んでいる。	15	50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	0%	67%	33%	0%	0%	2.7	B	44%	43%	13%	0%	0%	3.3	B					
学校教育目標 1 児童生徒が、主体的によく学び、よく考え、判断し、表現・活動する意欲と力を高め、自分らしく生きる力を育む。	3 保護者に丁寧かつ誠実に対応し、地域や関係機関には連携・協働すること信頼される学校	16 保護者懇談や授業参観、一斉メールの活用等、保護者に随時必要な情報提供や意見交換を行っている。	16	50%	40%	10%	0%	0%	3.4	B	B	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	B	65%	32%	3%	0%	0%	3.6	A	B		
		17 保護者や地域の方からの連絡や意見等に誠実かつ丁寧に対応している。	17	70%	20%	10%	0%	0%	3.6	A	33%	67%	0%	0%	0%	3.3	B	65%	33%	2%	0%	0%	3.6	A					
		18 学校HPやオープンスクール等で教育活動等について情報提供を行い、理解啓発活動に取り組んでいる。	18	60%	30%	10%	0%	0%	3.5	A	33%	67%	0%	0%	0%	3.3	B	53%	41%	5%	1%	0%	3.5	B					
		19 地域の学校園やその児童生徒、保護者に対し、教育相談や研修等のセンター的機能の役割を發揮している。	19	70%	0%	30%	0%	0%	3.4	B	0%	100%	0%	0%	0%	3.0	B	45%	46%	8%	0%	0%	3.4	B					
		20 居住地校交流や学校間交流を充実させるために、連絡を取り合い計画的に取り組んでいる。	20	40%	40%	20%	0%	0%	3.2	B	33%	67%	0%	0%	0%	3.3	B	57%	36%	6%	0%	0%	3.5	A					
		21 コミュニティ・スクールによる地域の方との交流や地域の施設を利用した教育活動に取り組んでいる。	21	50%	30%	20%	0%	0%	3.3	B	0%	67%	33%	0%	0%	2.7	B	43%	45%	12%	0%	0%	3.3	B					
		22 関係機関と連携してケース会議を開催する等、児童生徒の課題に対応している。	22	40%	50%	10%	0%	0%	3.3	B	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	63%	33%	4%	0%	0%	3.6	A					
2 児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。	4 児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共	23 児童生徒の教育課題や問題行動等について教職員間で情報共有され、チームで対応できている。	23	50%	30%	20%	0%	0%	3.3	B	33%	67%	0%	0%	0%	3.3	B	56%	35%	9%	0%	0%	3.5	B					
		24 目標や教育課題に対し、各学級、学年、学部、校務部、委員会等で連携・協働できている。	24	30%	50%	20%	0%	0%	3.1	B	B	33%	33%	33%	0%	0%	3.0	B	A	45%	41%	14%	0%	0%	3.3	B	B		
		25 職員会議や各種会議で児童生徒や教育課題について情報共有や意見交換が行われている。	25	40%	50%	10%	0%	0%	3.3	B	67%	0%	33%	0%	0%	3.3	B	49%	40%	11%	0%	0%	3.4	B					
		26 グループウェアやTeams等により必要な情報が共有されている。	26	50%	50%	0%	0%	0%	3.5	A	67%	0%	33%	0%	0%	3.3	B	63%	28%	9%	0%	0%	3.5	A					
		5 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校	27 特別支援教育の専門性や実践的指導力を向上させるために研修計画を立て、実施している。	27	40%	60%	0%	0%	0%	3.4	B	B	67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	B	49%	50%	0%	1%	0%	3.5	B	B	
			28 業務改善により勤務時間の適正化が図られ、児童生徒に向き合える時間が増えている。	28	30%	50%	20%	0%	0%	3.1	B	0%	0%	67%	33%	0%	1.7	C	24%	37%	28%	10%	0%	2.7	B				
	29 ハラスメント防止や衛生委員会による職場改善等働きがいのある職場づくりに取り組んでいる。	29	30%	30%	40%	0%	0%	2.9	B	33%	33%	33%	0%	0%	3.0	B	28%	45%	25%	3%	0%	3.0	B						
	30 服務規律の順守や非違行為がないように教育公務員としての自覚を意識して職務に取り組んでいる。	30	40%	60%	0%	0%	0%	3.4	B	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	65%	34%	1%	0%	0%	3.6	A						

評価はA(高い)→D(低い)の順になっており、A(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)の4段階評価を基に、算出しています。達成状況は4点満点の評価点で、3.5以上をA、3.4~2.5をB、2.4以下をCとしています。

令和6年度学校評価(めざす学校像・保護者アンケート)

学校経営の重点		評価項目	
教育方針	めざす学校像		
障害のある児童生徒が、自分らしく生き、社会で共に生きる力を育むために、学校(「ひめとく」)に関わる人が、教育課題等を共有・共感し、共鳴して連携・協働、切磋琢磨し、共に育っていくことができる学校づくりを実現する。	1 児童生徒にとって安心安全で学び、生活できる学校	1	学校として、お子様の人権が大切にされた適切な指導や必要な支援に取り組んでいる。
		2	学校として、お子様の障害や実態に配慮した適切な言葉かけや関わりに取り組んでいる。
		3	学校として、お子様の健康に配慮した教育に取り組んでいる。
		4	学校として、感染症拡大防止やお子様の疾病やアレルギー等の対応に取り組んでいる。
		5	学校として、災害に対する避難訓練や防災体制の準備に取り組んでいる。
		6	学校として、お子様が安全に学習や生活できるよう配慮にした環境整備に取り組んでいる。
学校教育目標	2 児童生徒一人一人が大切にされ、質の高い教育が行われ、健全な発達・成長ができる学校	7	学校として、お子様の障害や実態に応じた学習指導に取り組んでいる。
		8	学校として、お子様の教育的ニーズに応じた必要な支援を行っている。
		9	学校として、お子様が興味を持ち、楽しく学習できる授業づくりに取り組んでいる。
1 児童生徒が、主体的によく学び、よく考え、判断し、表現・活動する意欲と力を高め、自分らしく生きる力を育む。	3 保護者に丁寧かつ誠実に対応し、地域や関係機関には連携・協働することで信頼される学校	10	学校として、タブレット端末やPC、電子黒板等を活用した分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。
		11	学校として、お子様が待てる力を伸ばすことができる授業づくりに取り組んでいる。
		12	学校として、お子様の自立と社会参加に向けた授業づくりや進路指導に取り組んでいる。
		13	学校として、生活のルールやマナーを守れる態度を育む指導に取り組んでいる。
2 児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。	4 児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共鳴・共有」する学校	14	学校として、保護者懇談や授業参観、一斉メール等、随時必要な情報提供に取り組んでいる。
		15	学校として、学校HPや学年通信や進路だより、保健だより等で必要な情報の提供に取り組んでいる。
		16	学校として、困ったことがあれば誠実かつ丁寧に相談できる。
		17	コミュニティ・スクールによる地域の方と交流する教育活動を知っている。
		18	学校として、福祉や医療、労働等の関係機関と連携してお子様の困ったことに対する支援に取り組んでいる。
5 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校		19	学校として、お子様の実態や様子について共通理解したうえで適切な指導や必要な支援に取り組んでいる。
		20	先生方が、特別支援教育の専門性を持ち、お子様に適切な指導や必要な支援に取り組んでいる。
		21	先生方が、お子様に愛情を持って丁寧にきめ細かく関わっている。

小学部								中学部								高等部								本校全体							
A	B	C	D	N/A無回	価評	達成状況	昨年(R5)	A	B	C	D	N/A無回	価評	達成状況	昨年(R5)	A	B	C	D	N/A無回	価評	達成状況	昨年(R5)	A	B	C	D	N/A無回	価評	達成状況	昨年(R5)
88%	10%	0%	0%	2%	3.8	A	B	78%	20%	2%	0%	0%	3.8	A	B	70%	29%	0%	0%	1%	3.7	A	B	78%	20%	1%	0%	1%	3.7	A	
85%	12%	1%	0%	1%	3.8	A		71%	25%	3%	0%	0%	3.7	A		71%	28%	0%	0%	1%	3.7	A		76%	22%	2%	0%	1%	3.7	A	
88%	11%	0%	0%	1%	3.8	A	B	68%	29%	2%	0%	2%	3.6	A	B	69%	30%	0%	0%	1%	3.7	A	B	75%	23%	1%	0%	1%	3.7	A	
79%	15%	4%	1%	1%	3.7	A	B	75%	15%	7%	2%	2%	3.6	A	B	67%	30%	1%	0%	1%	3.6	A	B	74%	20%	4%	1%	1%	3.6	A	
88%	11%	0%	0%	1%	3.8	A	B	78%	20%	2%	0%	0%	3.8	A	B	67%	29%	2%	0%	1%	3.6	A	B	78%	20%	1%	0%	1%	3.7	A	
85%	14%	0%	0%	1%	3.8	A	B	61%	29%	10%	0%	0%	3.5	A	B	64%	34%	1%	0%	1%	3.6	A	B	70%	25%	4%	0%	1%	3.6	A	
88%	9%	2%	0%	1%	3.8	A		59%	32%	7%	2%	0%	3.5	B		64%	31%	4%	0%	1%	3.6	A		70%	24%	4%	1%	1%	3.6	A	
81%	16%	1%	0%	1%	3.8	A		63%	31%	5%	2%	0%	3.5	A		61%	35%	2%	0%	1%	3.6	A		69%	27%	3%	1%	1%	3.6	A	
85%	14%	0%	0%	1%	3.8	A	A	66%	31%	3%	0%	0%	3.6	A	A	69%	28%	2%	0%	1%	3.6	A	A	73%	24%	2%	0%	1%	3.7	A	
80%	11%	5%	1%	2%	3.7	A		51%	34%	10%	3%	2%	3.3	B		63%	31%	5%	0%	1%	3.5	A		65%	25%	7%	2%	2%	3.5	B	
81%	15%	2%	0%	1%	3.8	A	B	59%	39%	0%	2%	0%	3.6	A	B	60%	35%	2%	0%	2%	3.5	A	B	67%	30%	2%	1%	1%	3.6	A	
74%	22%	2%	0%	1%	3.7	A	B	61%	29%	8%	2%	0%	3.5	B	B	67%	30%	1%	0%	1%	3.6	A	B	68%	27%	4%	1%	1%	3.6	A	
80%	19%	0%	0%	1%	3.8	A	B	76%	22%	2%	0%	0%	3.7	A	A	66%	31%	1%	0%	1%	3.6	A	A	74%	24%	1%	0%	1%	3.7	A	
83%	16%	0%	0%	1%	3.8	A	B	76%	17%	7%	0%	0%	3.7	A	B	65%	29%	4%	1%	1%	3.6	A	A	75%	21%	3%	0%	1%	3.7	A	
80%	19%	0%	0%	1%	3.8	A		78%	19%	3%	0%	0%	3.7	A		66%	33%	0%	0%	1%	3.6	A		75%	23%	1%	0%	1%	3.7	A	
84%	14%	1%	0%	1%	3.8	A	B	73%	20%	7%	0%	0%	3.7	A	B	66%	31%	0%	1%	1%	3.6	A	A	74%	22%	3%	0%	1%	3.7	A	
67%	22%	6%	5%	0%	3.5	A	B	66%	22%	10%	2%	0%	3.5	A	B	41%	42%	12%	4%	1%	3.2	B	B	58%	29%	9%	3%	0%	3.4	B	
62%	30%	7%	1%	0%	3.5	A		56%	34%	5%	3%	2%	3.4	B		58%	30%	10%	1%	1%	3.4	B		58%	31%	7%	2%	1%	3.4	B	
77%	19%	2%	1%	1%	3.7	A		66%	27%	5%	2%	0%	3.6	A		65%	31%	1%	1%	1%	3.6	A		69%	26%	3%	1%	1%	3.6	A	
84%	15%	0%	1%	0%	3.8	A	B	66%	27%	7%	0%	0%	3.6	A	B	61%	31%	6%	0%	1%	3.5	A	B	70%	24%	4%	0%	0%	3.6	A	
90%	7%	1%	0%	1%	3.9	A		75%	24%	2%	0%	0%	3.7	A		70%	28%	1%	0%	1%	3.7	A		78%	20%	1%	0%	1%	3.7	A	

学校評価R6 <回収率>

保護者	回収率						回収数						保護者数(生徒数)					
	小	中	高	他	分	訪	小	中	高	他	分	訪	小	中	高	他	分	訪
学部合計	87%	89%	88%	#####	48%	#####	81	59	83	0	16	0	93	66	94	0	33	0
各合計	88%			48%			223			16			253			33		
全体集計	84%						239						286					

打ち込むセル
 結果反映セル

回収率

※黄色のセルにそれぞれの数を入力すると、一番左の表に割合として表示される

ルルド 保護者	回収率		回収数		保護者数(生徒数)	
	訪問(ルルド)		訪問(ルルド)		訪問(ルルド)	
学部合計	43%		6		14	

職員	回収率						回収数						R6在籍職員数(休職中は除く)					
	小	中	高	他	分	訪	小	中	高	他	分	訪	小	中	高	他	分	訪
学部合計	73%	57%	62%	88%	100%	50%	30	16	24	7	10	3	41	28	39	8	10	6
各合計	66%			81%			77			13			116			16		
全体集計	68%						90						132					

令和6年度学校評価(めざす学校像・<ルルド>保護者アンケート)

学校経営の重点		評価項目	訪問教育部								
教育方針	めざす学校像		A	B	C	D	N/A 無回	評価	達成状況	昨年 (R5)	
<p>障害のある児童生徒が、自分らしく生き、社会で共に生きる力を育むために、学校(「ひめとく」)に関わる人が、教育課題等を共有・共感し、共鳴して連携・協働、切磋琢磨し、共に育っていくことができる学校づくりを実現する。</p> <p>1 児童生徒が、主体的によく学び、よく考え、判断し、表現・活動する意欲と力を高め、自分らしく生きる力を育む。</p> <p>2 児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。</p>	<p>1 児童生徒にとって安心安全で学び、生活できる学校</p>	1 児童生徒の人権を大切にした対応が常にできている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
		2 児童生徒の障害や実態に配慮した適切な言葉かけや関わりに取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
		3 児童生徒の健康と安全に配慮した指導ができている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
		4 感染症拡大を防ぐための対応を行っている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
		×									
		5 設備や教室環境について十分な配慮ができている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
	<p>2 児童生徒一人一人が大切にされ、質の高い教育が行われ、健全な発達・成長ができる学校</p>	<p>3 保護者に丁寧かつ誠実に対応し、地域や関係機関には連携・協働することで信頼される学校</p>	6 児童生徒の実態に応じた専門的な指導ができている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	
			7 児童生徒の教育的ニーズに応じた必要な支援を行っている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	
			8 興味・関心が広がる授業が実施されている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	
			9 タブレット端末やPC、電子黒板等を活用した分かりやすい授業づくりに取り組んでいる。	83%	0%	0%	0%	17%	3.3	B	
	<p>1 児童生徒が、主体的によく学び、よく考え、判断し、表現・活動する意欲と力を高め、自分らしく生きる力を育む。</p> <p>2 児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。</p>	<p>4 児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共鳴・共育」する学校</p> <p>5 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校</p>	10 児童生徒の力をさらに伸ばす取り組みが実施されている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	
			×								
			11 情報をご家庭に発信されている。	83%	0%	0%	0%	17%	3.3	B	
			12 困りごとを気軽に学校に相談できる。	83%	0%	0%	0%	17%	3.3	B	
			×								
			13 医療機関や福祉と連携して児童生徒の困ったことに対する支援に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A	
<p>2 児童生徒が、主体的に仲間や地域の方と交流し、学び合い、協力し、認め合う意欲と態度を高め、社会で共に生きる力を育む。</p>	<p>4 児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共鳴・共育」する学校</p> <p>5 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校</p>	×									
		14 児童生徒の実態や様子について共通理解したうえで適切な指導や必要な支援に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
		15 特別支援教育の専門性を持ち、児童生徒に適切な指導や必要な支援に取り組んでいる。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
		16 児童生徒に愛情を持って丁寧にきめ細かく関わっている。	100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		
			100%	0%	0%	0%	0%	4.0	A		

学校評価R6 <回収率>

打ち込むセル
 結果反映セル

回収率

※黄色のセルにそれぞれの数を入力すると、一番左の表に割合として表示される

ルルド 保護者	回収率	回収数	保護者数(生徒数)
	訪問(ルルド)	訪問(ルルド)	訪問(ルルド)
学部合計	43%	6	14

自由記述

【目指す学校像】	小学部	
	本校保護者	肯定的意見
【1】 児童生徒にとって安心安全 で学び生活できる学校	P	【1】 安心安全に過ごせている事がよく伝わってきます。小学校に楽しく登校できています
	P	【1】 本人が楽しく登校している事で保護者は安心して送り出すことができています。
	P	【1】 授業参観の時に、先生方の生徒一人一人の目配りされているところを見て、生徒は安心して、なおかつ安全に授業が受けることが出来ると感じましたので、これ以上何かいうことはございません。
【2】 児童生徒一人一人が大切にされ、質の高い教育が行われ、健全な発達・成長ができる学校	P	【1】 4年間通学していますが、毎日バスの乗車の段階から、安全で通学できることが基本であると思っています。校内での生活も信頼している先生、場所であるため、今までと変わらずお願いしたいと思います。先生、介助員さん、バス運転手さんが一丸となって安心安全でやっていただくようこれからも切に願います。
	P	【1】 学校に行くのを楽しみにしている様子がうかがえます。
	P	【1】 病院の為に送ったり迎えに行った時に会った人が挨拶をして下さりますし、息子の名前 ○○○さんおはよう さようなら って言って下さると息子がいるんな人と関りがあるのだと思いき嬉しくてすしありがた!!
【3】 保護者に丁寧かつ誠実に対応し、地域や関係機関には連携・協働することで信頼される学校	P	【1】 うちの子は会話が出来ません。拙い単語の意味をしっかりと先生方が受け止め、理解しようとして下さる姿勢が親としてはとてもありがたいです。話せないで、「今日こんな事があったよ!」などの報告を本人から聞くことが出来ません。連絡帳でその日の様子を書いて教えて下さり、ありがとうございます。
	P	【2】 子供1人に対して、先生や介助員さんが1人つくぐらい手厚く、喋れない子供にとっては、すぐそこに誰かがいる環境で見てもらっているのが、声が出なくても手招き等で誰かが気づいてくれる良い環境で学んでいると思います
	P	【2】 毎日の連絡ノートを見るのが本当に楽しみで、先生方もお忙しい中よく見てくれているなど、感じる具体的なエピソードにクスクスとすることもあります。本人から状況を聞けない分、今日も頑張ってきたんだと、嬉しく見せてもらっています。嬉しい反面、こんなに沢山書いてくれて大変じゃなかったかな?と…いつもありがとうございます。
【4】 児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共鳴・共育」する学校	P	【2】 手厚く対応して頂いて感謝につきます。
	P	【2】 この一年間で子供たちの発達、成長が実感できます。先生方が細やかに丁寧に見守り、指導して下さいと心から感謝しています。ありがとうございます。
	P	【2】 とても丁寧に寄り添った支援を頂きとても感謝しております。高学年に向けて少しづつでも良いので、学校を卒業した時の事も見据えての支援をお願いいたします。自分も親として大人になった時に結び付くよう子育てを考えていきたいので今後ともよろしく願いいたします。
【5】 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校	P	【2】 先生方が生徒一人一人の能力を把握されていて、生徒ごとの能力に合わせた教育をされているのを感じました。とても良い事だと思います。
	P	【2】 校内で他学部の先生が名前と顔を覚えて下さっており、声掛けをされている。一人一人への関わり方として第一に大切なことだと思うので(先生方の)質の高さを感じる。
	P	【2】 毎日の活動内容が連絡帳に細かく書かれ、子供達の日常がわかり安心できます。
【6】 その他	P	【3】 一人一人を見て、大切にされているように感じ、この学校を選んて良かったなと思っています。大変な面も多いですが先生たちと話していると前向きな気持ちになり、一人で子育てしている訳じゃない事を心強く思っています。
	P	【3】 居住地校交流でも興味のあることや好きなこと。得意なことをうまく取り入れた交流内容を感じた。
	P	【3】 先生は病院までリハビリの様子を見に来て下さり、個別支援会議では、校外まで来て頂き、バスの中で不穏があれば様子を見にバスに乗って来られました。子供が過ごす時間が長い学校なので、子供への支援の中核を担って頂いていると思います。マラソンでは伴走して頂いていると聞いて心苦しい限りです。
小学部	P	【4】 小学部に入るまでは誰かと一緒に何かをするというより、一人で遊んでいたり、見ていることが多かったのですが、学校に行き始めてからはお友達と遊ぶことの楽しさ、先生たちの見本を見て同じことをする楽しさを学んでいると思います。
	P	【4】 担任の先生だけでなく、子供が関わる他のクラスの先生や介助員さんにも情報共有している
	P	【4】 個別の支援計画等もとても細かく、よく話し合われているのかなと感じる内容で分かりやすいです。些細な点もよく気が付き、成長と一緒に喜んでくれて、本当に日々の励みになっています。
	P	【4】 学年の違う生徒との交流・活動での様子をうまく共有し、刺激しあい、より良い共有となっていると感じた。
	P	【4】 日々の様子・活動等を連絡帳で教えてもらっています。
	P	【4】 いつも先生が連絡帳で様子をとても詳しく教えてください。直接話した方が良い時はお電話を下さり、いつも一緒に考えて下さり相談もしやすいです。密に情報を交換し共有する事で、連携して息子の支援をしていけるのでありがたいです。
	P	【5】 子供達の活動の成功時に共に喜び合えた時
	P	【5】 担任の先生が息子の為に工夫・研究をして下さり、そのおかげで息子が成長させていただき感謝しています。それを知っている長男は特別支援学校の教職員になるため勉強に励んでいます。素晴らしい担任の先生にあたり感謝!!(1年~5年まで)
	P	【6】 子供が毎日楽しそうに学校へ行っているのは教職員の先生方と、周りの子供達の深い理解の上だと思っています。
	P	【6】 バスの介助員さんと担任の先生の連携が取れていて助かりますし、息子がバスの介助員さんを信頼している素晴らしい人なので、親はバスの介助員さんに助けてもらっています。バスの介助員さんの事なら息子が聞けるので!!
	P	【 】 いつも子供が大切に寄り添った支援をしていただいている事を、子供を通して感じております。家と同じ、もしかしたら家以上に楽しい安心の場所かもしれません。本当に感謝でいっぱいです。ありがとうございます。今後どうぞよろしく願いいたします。
	P	【 】 いつもありがとうございます
	O	【2】 我が子に応じた教育を行っていて、持っている力を伸ばしてくれていると感じています。担任だけでなく、他クラスの先生も一貫した取り組みで対応してくれているので、子供も戸惑うことなく過ごせていると思います。再来年は中学部に上がりますが、引継ぎ、申し送りをしっかりしてほしいと思っています。
	O	【6】 「学校として」は見えない部分も多いので学年としての評価になります。今年初めて他学年の子供達やその保護者の方と参観があり、学年ごとに色が違う印象を受けました。
		課題的意見
	T	【1】 校舎の老朽化が気になります。安心安全とは少し言い難いと感じます。
	T	【1】 安全に過ごせているとは思いますが、校舎が古すぎる。全体的に。特にトイレを衛生的に保つ事が難しいと思う。耐震等は大丈夫なんでしょうか?
	T	【1】 普段から感染症拡大防止はされていると思うのですが(必ずしも学校ではなく、デイかも、または普段のスーパ-とかかもだけ)今年はいく感染症を外部からもってきたなあ…。という感じがしました。あと、廊下が所々ポコポコ?盛り上がり過ぎて子供がつかずかないか?気になった。
	T	【1.2】 児童の特性や理解度の違い等を考えた上での声掛けや、注意、普段の会話などをしてほしいと思うことが子供との会話の中で聞かれる事がある。本人の受け方や、主観もあるが、職員体制が整っていない日など、八つ当たりの様に本人が感じたことがある等出ているため、今後の事もあるので、もう少し権利擁護やコンプライアンス研修等を徹底してほしいです。
	T	【3】 毎日、学校からの連絡を書いて頂き、学校での活動の様子が細かく詳しく分かります。先生方は大変お忙しいにもかかわらず、欄いっぱい記して下さい。とてもありがたく、感謝しています。一つお願いがあります。大変言いにくいのですが、書かれている文字が読みにくい先生がおられます。前後の文から推測しても分からない時もあります。漢字はともかく平仮名だけでも正しく書けるように練習していただきたいです。無理に崩して書かずしていただくと読みやすくなります。お忙しいので丁寧な字でなくなるのは十分承知しておりますので、そういうことをお伝えするのはありません。申し訳ありませんが、今後のためにもよろしく願います。
	T	【3】 毎日の連絡帳での細やかな対応にも感謝しています。授業で出来た事など、プラス面は親としても凄く嬉しい事ですが、出来ない、困った事なども正直知りたいところでもあるので、それも詳しく書いてもらえればという気持ちもある。
	T	【3】 教職員の中で、挨拶をされない先生がいます。児童生徒の方が挨拶をよくしている様に思う。
	T	【5】 教職員全員が協力して職務につかっているのは十分理解します。ですが、先生と介助員では責任的な所に差異があるのに、介助員にも先生呼びなのは違うと思います。有資格者(教員)=先生 ・介助員=さん にしたほうが良いと思います。介助員の方は、保護者対応はほぼされませんし、先生とは指導的立場にある人に対する敬称です。
	T	【5】 我が子の学年の教職員の方々には本当にお世話になり感謝です。日々大変な中でも、きちんと接してもらえているように感じます。他学部の教職員の方で、一部面倒臭そうに対応されているのを見たり、朝、挨拶も子供にして下さらないのを見ると将来不安に感じる事もあります。(我が子も無反応ですか…)
	T	【5】 朝、校門に立っている先生が威圧的すぎる。挨拶は生活の基本で特別支援教育においても大切なことです。教職員が見本になるべきなのに、挨拶も聞かなくていい。
	T	【6】 口腔ケア(歯磨き・うがい)を早く再開してほしい。
	T	【6】 子供の成長を見れる機会の行事が多い分には良いが、PTA活動の無駄が目立つ。人数も多すぎです。理事を経験したが、役員会と題してまでする内容でもなく時間の無駄。自身の子の為に泣く泣くされている方も居るとは思いますが、行事事などは学年でボランティアを募る、学年ごとで会計設定をするなど時代に合わせた内容にするべき。

自由記述

【目指す学校像】		肯定的意見		
【1】児童生徒にとって安心安全で学び生活できる学校	P	【1】	毎日丁寧に教育が実施されていて安心です。	
	P	【1】	本当によく見て頂いて毎日楽しいと言って学校に通っています。	
	【2】児童生徒一人一人が大切にされ、質の高い教育が行われ、健全な発達・成長ができる学校	P	【1】	学校内では畑作業を安全に取り組んでいる。校外では、校外学習に行くために、トイレの場所や洋式(多目的)の場所を把握していて安心でした。
		P	【1】	中1後半、中2の時に色々トラブルを起こし申し訳ありませんでした。中3の1学期は入院していたため2学期から行かせてもらっていますが、子供に寄り添って頂き、丁寧に指導して下さい、本人も頑張って学校に行けることに自信を持ってきています。先生方、本当にお忙しい中、対応して下さい感謝しています。連絡帳も短い時間の間に長文で丁寧に書いて下さっていて、学校生活を知れて嬉しいです。本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いします。
	【3】保護者に丁寧かつ誠実に対応し、地域や関係機関には連携・協働することで信頼される学校	P	【2】	意欲的に学習に取り組んでいると感じています。
		P	【2】	担任の先生が3人いらっしゃるの、それぞれの視点から関わって下さり、保護者としても信頼を寄せ、自分もしっかり子供と向き合おうと思えます。
		P	【2】	教職員が信頼できる
	【4】児童生徒の様子や教育課題等について、全体で「共有・共感」し、「共鳴・共育」する学校	P	【2】	生徒一人一人に対して学習面や苦手な事に対して個別に取り組んでくれている。
		P	【2・3・5】	先生方、一人一人が子供に愛情を注いで懸命に対応して下さいの御姿に、唯々、感謝あるのみです。左の「目指す学校像」の項目すべてに共通している事です。
	【5】教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校	P	【3】	なんでも気軽に相談しやすくありがたいです。
		P	【3】	直接生徒に関係しない相談も、とてもお忙しいだろう先生方だろうに、わざわざ時間を作って聞いて下さった。とても感謝している。
		P	【3】	連絡帳に詳しく記入して頂き、とても助かっています。Gメールで質問も丁寧に対応して頂いています。
		P	【4】	いろんなことに取り組めてすごく成長できています。
		P	【5】	いつも子供が嬉しそうに先生のお話をしてくれます。協力して教育が実施されていて素晴らしい。毎日ありがとうございます。
		P	【5】	先生方を見ていて、支援学校で働く資格を取りました。大変ですが先生方、子供達をみていてやりがいあることだと思いました。そんな風に私はなっています。尊敬です!!!
		P	【5】	先生方が子供に対して一人一人に愛情をもって接しておられます。頭が下がります。
		P	【5】	娘にとって学校に行きやすいように動いて下さり助かっています。中学部に入って、娘の成長がすごく、変わった面もあり、入ってよかったと思います。ありがとうございます。
		P	【6】	全ての思いに答えるのは、とても難しいと思う。支援学校に行かなければならなかった訳、それは親も含め、子供にとってよりよい支援が受けられ、それについて学びたいからである。学校では手厚く支援下さり、又、子供もとても信頼している。学校を出た後、今までの支援が無くなります。その不安は大きく、今はよくても…と言う思いです。その為に今取り組んで下さっていると思います。どうかこの先の子供達の未来が明るいものであると信じて今通わせてもらっています。いつもありがとうございます。そして宜しくお願いします。
	【6】その他	O	【2】	表面の7～13の設問の評価を「Bどちらかと言えばそうおもう」にした理由は、実際に授業風景を見ていないのでそのような評価になった。毎日の連絡帳で学校生活の様子はとても丁寧に教えて頂いているので出来る事なら、「Aそうおもう」にしたかった。
			課題的意見	
T		【1】	安心安全かと聞かれると建物の老朽化がとても気になります災害時に設備等は大丈夫なのかと心配になります。	
T		【1】	不審者が建物内に入らないのか、きになります。	
T		【1】	(学校だけではどうしようもない問題なのですか)施設が古いので床が割れている所でつまづきそうになって不安になったことがあります。県の予算も厳しい中、修繕もして下さいと思いますが、子供達がケガの無いよう祈っております。先生方がいつも安全に見守って下さるので感謝しかありません。	
T		【1】	いつも子供達の為にご尽力下さりありがとうございます。校舎の老朽化が進んでいる事が気になっております。学校独自の力で出来る事ではないと存じていますが、ご検討いただけますと幸いです。	
T		【1】	いつも子供達の為にご尽力いただきありがとうございます。校舎の老朽化やプレハブ教室の使用、生徒数の増加が気になります。特に老朽化についてぜひご検討頂けると幸いです。	
T		【2】	市立の中学と県立の支援学校で仕組みが異なる事は理解していますが、小学校で一緒だった地域の中学に行った子はタブレットで小学校の子達と交流出来たりも出来るけれど、支援学校に行くアカウントが無くなって個人的に知っている人としか交流出来なくなるのは残念。支援学校は地域(居住地)との交流が乏しいと感じる。障害のある子でも地域の学校を選びたいのは地域で知ってもらう事が出来ないからなので、その部分が弱いのが一番残念。姫路はインクルーシブからほど遠い。	
T		【4.5】	子供の様子「共有・共感」「共鳴・共育」これは本当に出来ているのかなど、先生も人なので学年が上がると担任が変わり、また最初から子供について説明して、一からみたいな感じてストレスになっています。「共有・共育」はどうかと不安になります。先生にとって働きやすい環境になっているのか、親として先生の気持ちも聞いてみたいです。	
T		【4】	先生方の日々の努力に深く感謝しております。運動会が無くなったことで、父親が学校での子供の様子を見る機会が減少していることを寂しく感じております。何らかの形でご検討いただけないでしょうか。また、参観についても、特別学習だけでなく日常の授業や生活の様子を見られる機会があると、子供達への理解が深まり進路や将来への選択についてもより、適切に考える事が出来ると考えます。よろしく願いいたします。	
T		【4】	日々の教育活動に感謝しております。運動会の復活や学部ごとの開催についてご検討いただけると、子供たちの成長を見る機会が増え、父親を含む保護者間の交流にも繋がると思います。また、参観の機会が減少している現状についても、普段の学校生活を見られる工夫を是非お願いできればと存じます。これは、進路や将来の選択を考える上でも大いに役立つと考えております。	
T		【6】	PTAのあり方役員等の決め方(内容等)もう少し簡素化していただきたい。古い考えで物事を決めつけるのではなく、その年で検討をする。一度なったからとか、免除(大役)小1(例)でしたから中高でなくていいとか…こんな考えが古すぎます。今の時代にPTAの必要性があるのかさえ理解に苦しむ…子供に直接関係あることはその都度検討して全体で考えるべきではないでしょうか。思う事が沢山あり、申し訳ありません。	
T	【6】	参観日や体育発表会以外に通常の授業風景を見学したい。以前行われていたオープンスクールを復活させてほしい。(登校後～下校直前までの時間で数日設けて下さると有難い)		

自由記述

高等部		本校保護者		肯定的意見
【1】児童生徒にとって安心安全で学び生活できる学校	P	【1】	地震などの自然災害や不審者など、緊急時の避難訓練を定期的実施されている事で非常事態にも落ち着いた行動が取れると思います。(大事な事だと思います)個別の支援で子供達も安心して学べる環境が整っていると思います。又、デイや保護者との連携も、密にして下さり、子供の状況や成長について、共通の理解を持つことが出来るので子供達も保護者も安心・安全が確保出来る学校だと思います。	
	P	【1】	子供の意思を尊重し寄り添って下さり、子供の心も穏やかでいられる。やる気を引き起こして下さる。	
	P	【2・5】	先生方は本当に素晴らしく、子供達に寄り添い、分かりやすい学習をして下さっています。子供達も、毎日学校の学習が楽しいようで「学校いきたーい」と休日にも言っています。姫特に入学して本当に良かったです。出来れば3年間同じ先生方と卒業できたら嬉しく思います。本当に先生方には感謝しています。ありがとうございます。	
	P	【2】	多様な障害(特性)のある子供達に対し、一人一人の個性を大切に特性に応じた教育がされていると思います。一人一人の教育計画を立案されていて、目標に向けて定期的に評価して下さり、成長の実感を感じる事が出来ます。	
	P	【2】	親にも寄り添って下さり、焦ることなく対応できる。	
	P	【2】	大変出来ていると思います。〇〇の作業所、面談時に感じました。良く生徒を理解されています。流石プロと思いました。	
	P	【2】	連絡帳に丁寧に学校の出来事や様子を知らせてもらったりして、先生との連絡も密に出来、安心して学校に行くことが出来ています。	
	P	【3】	児童生徒のみならず保護者に対しても丁寧かつ切実に対応して下さっていると思う。分からない事も多いので有難い。	
	P	【3】	担任の先生が、ルネスPT・OT・STの先生方や神戸学院大学PTの先生に本人の様子を見て頂き、自立活動や日常生活に取り入れて下さり、手すりを持って、階段を一段ずつ足を揃えずに昇降することが出来るようになったり、指先の使い方が上手になって大きめのボタンの止め外しが早くなったり、親指と人差し指を使って小さなものをつまむ事が出来るようになり、言葉がはっきり言える事が増えたりしました。保護者にその様子を動画やお話で知らせていただき、大変有難く思っています。家庭でも、学校と同じように出来る事はしていくようにしています。学校の先生方に感謝していっぱいです。	
	P	【4】	出来ていると思いますよ!しっかり、きっちりと!	
	P	【5】	小学部からお世話になっています。「特別支援学校」という学校がどんな学校なのか?分からず、入学前にオープンスクールに行きました。小学部1・2年生の教室を見学し、その時の担任の先生方の子供達に接するときの表情や言葉かけに想像を超えた感動に涙がこぼれました。障害の特性を個別的に理解され何より子供達への深い愛情と教育に対する情熱を感じています。現在高等部ですが今の子供の姿は、その頃からは想像できないほどの成長が見られます(うまく書けませんが…)今まで関わって下さった先生方の根気強い手厚い支援のおかげだと思っています。素晴らしい先生方です。	
	P	【5】	先生方の業務が時間に余裕がないように思います。大変よくして頂いており感謝しています。先生方自身がどう感じられているのか…	
	P	【5】	先生方を見ていて、支援学校で働く資格を取りました。大変ですが、先生方、子供達を見ていて、やりがいある事だと思いました。そんな風に私にはうつっています。尊敬です。	
	P	【5】	だと思えますよ。先生笑顔ですごくいいと思いました。運動会初めてでしたが、感動、感激しました。感謝しかありませんよ。	
	O	【6】	A~Dの評価で一応記入したが分からないがあればいくつかはそれにあたります。	
	O	【】	アンケートは何の為か分かりませんが、外野がどう思うのが、先生、学校がしやすい環境にして下さい。字と文章で誰の親か分かるかと思えます。	
	高等部			課題的意見
	T	【1】	以前よりよく言われている事ですが、校舎が市川堤防近くの低地にあり、特に水害が発生した際に被災するのではないのでしょうか。校舎も古く、今後の災害に対しての、防災の観点からも移転等を検討して頂きたいと思っています。当方はあと2年で卒業ですが、後に続く生徒児童の為に是非ご検討頂きたくお願い申し上げます。衛星電話の導入もご検討いただきたく存じます。	
	T	【1】	スマホでバスの運行状況が見れるようになり、便利になって親も安心なのですが、あまりに暑い季節、寒い季節はギリギリに家を出たりもします。その時により、本人の歩くペースも違います。どういった言い方なのかニュアンスは分かりませんが、「もっと早く来て」と介助員さんに言われるそうです。少し凹み気味に伝えてくれる時もあります。親は心配になります。時間内には着くように送り出しています。	
T	【1】	障害のある子供が通っているにしては、説明の仕方が難しく、子供が理解出来ていない事、安心だと感じてない事がありました。		
T	【1】	県政の問題であると理解していますが、校舎の老朽化が気になります。耐震性やトイレの衛生面で問題ないのでしょうか。		
T	【2】	クラスに3人先生が居て下さっていますが、高2になって全員が全員、娘の事を把握されている訳ではないんだと感じました。		
T	【2】	学習について、地域の学校から本校へ入った場合、既に習った授業レベルにより新しい知識を得る事がなく、新しい学びにワクワクする興味を持つ事が困難と感じる		
T	【3】	保護者が平等に情報を得る事の出来る環境づくりをお願いします。特別支援学校の校区は広く、地域の学校の様にご近所に同じ学校の保護者がいるわけではありません。そのため、学校の事、進路の事、福祉の情報をなどを知る手がかりが「バス停の先輩」による事が大きい状況にあります。今後PTAもかなり縮小され、活動内容も変わっていき、益々保護者同士の繋がりが減少するものと思われます。今後、在籍する児童生徒が等しく情報を得る事が出来るよう、多くの情報や考え方を保護者にお示し頂きたく、更には保護者も質問等を気軽に出来るような(例えばひめとくの公式ラインのような)システムを構築していただけないでしょうか。よろしく願いいたします。		
T	【3】	コロナ以降、授業参観など、学校を訪問できる機会がかなり減ったと思います。連絡帳や「楽メ」では細かく対応頂いていますが、実際に見る機会を設けて頂きたいです。		
T	【3】	先生方に質問して「確認とききます。」と返答の時は、ほぼ返答は返ってこないです。こちらも返って来ないだろうと思っているので、確実に返答が欲しいもの以外は聞かないです。引継ぎがしっかり出来ていないのか、学年が変わると、していた事を又確認されたりするので困ります。		
T	【3】	地域の交流はコロナの関係もあると思いますが、少ないと思います。姫養祭は中1の時以降、縮小されたままなので残念です。		
T	【4】	地域の学校では支援クラスの担任は数年を通して関わり、支援の糸が切れない工夫がされている。本校は、学年が上がる度に担任3人が丸々変わるため、4月に1からやり直しの期間が発生する。場合によっては不登校の原因にもなる。		
T	【6】	保護者のPTAや学年・学級の役職がありすぎではないでしょうか。役職が沢山あるという事は当たる率が高くなる訳で、役に当たるということは仕事を休んで、出席しないといけない訳で、ただでさえ、懇談や行事、企業実習の前後2日の出席で休みを沢山使うのに、役に当たるとプラスで出席しないといけないので、毎回、役決めはドキドキします。たぶん皆さん負担になられてるのではないのでしょうか。負担を少なくしていただきたいです。		
T	【6】	アセスメント等についてですが、(親側の意見)説明だけでは理解が難しく、何かある度、初見のような気持ちになった事がありました。これとこれが繋がっていたのか…?と説明会の意味が無いような気がしました。		
T	【6】	クラス編成について。差別のないクラス作りは分らなくもないが、障害度の高い生徒も低い生徒も同じクラスの為、ストレスを感じることもある。デイサービスなどは曜日によって軽・中・高と分けて、友達同士で遊べるコミュニケーションが取れる工夫がされている。ママ友からの相談でも、仲の良い友達と離されて気持ちが落ちている。叫び声が酷く、聴覚過敏で不登校になったなども聞く。工夫が必要と考えます。		

令和6年度小学部児童アンケート

質 問	
1	(自分の方法で)あいさつは、できていますか？
2	(自分の方法で)「ありがとう」と、言えていますか？
3	がっこうのべんきょうは、たのしいですか？
4	がっこうのべんきょうは、わかりますか？
5	がっこうのべんきょうで、「できるようになった」ことはありますか？
6	ともだちとなかよく、できていますか？
7	がっこうのやくそくは、まもれていますか？

小学部							
A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)
86%	14%	0%	0%	0%	3.9	A	*
82%	14%	5%	0%	0%	3.8	A	*
77%	18%	0%	5%	0%	3.7	A	*
50%	32%	14%	5%	0%	3.3	B	A
68%	27%	5%	0%	0%	3.6	A	*
91%	9%	0%	0%	0%	3.9	A	*
77%	18%	0%	5%	0%	3.7	A	*

令和6年度中学部生徒アンケート

質 問	
1	あいさつはできていますか？
2	「ありがとうございます」の気持ちは伝えていますか？
3	学校は楽しいですか？
4	学校の勉強はわかりますか？
5	学校の勉強で「でききるようになった」ことはありますか？
6	学校の勉強はがんばっていますか？
7	友だちとなかよくできていますか？
8	係の仕事はできていますか？
9	学校のきまりは守れていますか？
10	自分ですべきことは、やっていますか？

中学部							
A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)
78%	11%	11%	0%	0%	3.7	A	*
63%	33%	4%	0%	0%	3.6	A	*
85%	7%	0%	7%	0%	3.7	A	*
67%	30%	0%	4%	0%	3.6	A	*
67%	30%	0%	4%	0%	3.6	A	*
85%	7%	4%	4%	0%	3.7	A	*
74%	22%	4%	0%	0%	3.7	A	*
96%	4%	0%	0%	0%	4.0	A	*
74%	15%	7%	4%	0%	3.6	A	*
81%	19%	0%	0%	0%	3.8	A	*

令和6年度高等部生徒(本校)アンケート

質 問	
1	自分に自信をもちていますか？
2	自分のことを大事だと思えていますか？
3	学校の友だちにやさしくできていますか？
4	学校の友だちや家族に思いやりをもてていますか？
5	自分の目標を立てて授業に取り組んでいますか？
6	その授業の目標について最後までやりぬけるよう努力していますか？
7	その授業について振り返りを行い、次の授業に生かせるよう努めていますか？
8	自分の目標を立てて実習に取り組んでいますか？
9	その実習の目標について最後までやりぬけるよう努力していますか？
10	その実習について振り返りを行い、次の実習に生かせるよう努めていますか？
11	学校生活や家庭生活において目標を立てて取り組んでいますか？
12	その生活の目標について最後までやりぬけるよう努力していますか？
13	その生活について振り返りを行い、次の生活に生かせるよう努めていますか？
14	学校の友だちと助け合ったり、協力し合ったりできていますか？
15	学校や社会のきまりやルールを守っていますか？
16	学校の友だちや先生に気持ちよくあいさつができていますか？
17	お世話になった方に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えていますか？
18	学校は楽しいですか？
19	学校の友だちとわくわくと楽しめて生活できていますか？
20	授業に興味関心をもって取り組んでいますか？
21	授業は分かりやすく工夫されていますか？
22	授業で「わかった」「できた」を感じることはありますか？
23	先生は、進路についてよく教えてくれますか？
24	進路についてよく考えていますか？
25	先生は困ったときに、よく話を聞いてくれますか？

高等部							
A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)
48%	32%	9%	11%	0%	3.2	B	
68%	23%	3%	6%	0%	3.5	A	
80%	14%	6%	0%	0%	3.7	A	
70%	26%	5%	0%	0%	3.7	A	
58%	24%	6%	12%	0%	3.3	B	A
73%	20%	3%	5%	0%	3.6	A	
61%	26%	9%	5%	0%	3.4	B	
70%	18%	8%	5%	0%	3.5	A	A
67%	26%	5%	3%	0%	3.6	A	
65%	26%	6%	3%	0%	3.5	A	
55%	30%	12%	3%	0%	3.4	B	
59%	29%	12%	0%	0%	3.5	B	
58%	29%	11%	3%	0%	3.4	B	
80%	15%	5%	0%	0%	3.8	A	
76%	14%	8%	3%	0%	3.6	A	A
71%	24%	3%	2%	0%	3.7	A	
77%	15%	3%	5%	0%	3.7	A	
70%	26%	3%	2%	0%	3.6	A	
73%	20%	3%	5%	0%	3.6	A	
67%	26%	5%	3%	0%	3.6	A	
70%	29%	2%	0%	0%	3.7	A	
74%	26%	0%	0%	0%	3.7	A	
77%	20%	2%	2%	0%	3.7	A	A
62%	24%	6%	8%	0%	3.4	B	A
80%	18%	2%	0%	0%	3.8	A	A

高等部	回収率	回収数	R6分教室生徒数
学部集計	70%	66	94

令和6年度高等部生徒(分教室)アンケート

質 問	
1	自分に自信をもっていますか？
2	自分のことを大事だと思えていますか？
3	学校の友だちにやさしくできていますか？
4	学校の友だちや家族に思いやりをもっていますか？
5	自分の目標を立てて授業に取り組んでいますか？
6	その授業の目標について最後までやりぬけるよう努力していますか？
7	その授業について振り返りを行い、次の授業に生かせるよう努力していますか？
8	自分の目標を立てて実習に取り組んでいますか？
9	その実習の目標について最後までやりぬけるよう努力していますか？
10	その実習について振り返りを行い、次の実習に生かせるよう努力していますか？
11	学校生活や家庭生活において目標を立てて取り組んでいますか？
12	その生活の目標について最後までやりぬけるよう努力していますか？
13	その生活について振り返りを行い、次の生活に生かせるよう努力していますか？
14	学校の友だちと助け合ったり、協力し合ったりできていますか？
15	学校や社会のきまりやルールを守っていますか？
16	学校の友だちや先生に気持ちよくあいさつができていますか？
17	お世話になった方に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えていますか？
18	学校は居心地のよい場所ですか？
19	学校の友だちとわくわくと楽しめて生活できていますか？
20	授業に興味関心をもって取り組んでいますか？
21	授業は分かりやすく工夫されていますか？
22	授業で「わかった」「できた」を感じることはありますか？
23	姫路別所高等学校の授業や行事の交流は楽しいですか？
24	姫路別所高等学校の生徒との交流は楽しいですか？
25	授業によって働く意欲や力は身についていますか？
26	先生は、進路についてよく教えてくださいませんか？
27	進路についてよく考えていますか？
28	先生は困ったときによく相談してくれますか？

分教室							
A	B	C	D	N/A 無回	価 評	達成状況	昨年 (R5)
29%	38%	24%	10%	0%	2.9	B	
52%	43%	5%	0%	0%	3.5	B	
48%	43%	10%	0%	0%	3.4	B	
62%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	
43%	52%	0%	5%	0%	3.3	B	
43%	52%	5%	0%	0%	3.4	B	
33%	57%	10%	0%	0%	3.2	B	
67%	24%	10%	0%	0%	3.6	A	
71%	24%	5%	0%	0%	3.7	A	
71%	29%	0%	0%	0%	3.7	A	
24%	62%	5%	10%	0%	3.0	B	
43%	43%	10%	5%	0%	3.2	B	
48%	29%	19%	5%	0%	3.2	B	
62%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	
67%	29%	5%	0%	0%	3.6	A	
76%	24%	0%	0%	0%	3.8	A	
86%	14%	0%	0%	0%	3.9	A	
48%	33%	19%	0%	0%	3.3	B	
57%	29%	14%	0%	0%	3.4	B	
43%	57%	0%	0%	0%	3.4	B	
71%	24%	5%	0%	0%	3.7	A	
57%	38%	5%	0%	0%	3.5	A	
52%	33%	10%	5%	0%	3.3	B	
52%	33%	5%	10%	0%	3.3	B	
62%	38%	0%	0%	0%	3.6	A	
76%	19%	5%	0%	0%	3.7	A	
57%	38%	5%	0%	0%	3.5	A	
67%	33%	0%	0%	0%	3.7	A	

令和6年度 姫路特別支援学校 学校関係者評価

	A	B	C	D	評価	達成 状況	昨年
1 児童生徒にとって安心安全で学び、生活できる学校	67%	33%	0%	0%	3.7	A	A
2 児童生徒一人一人が大切にされ、 質の高い教育が行われ、健全な発達・成長ができる学校	67%	33%	0%	0%	3.7	A	A
3 保護者に丁寧かつ誠実に対応し、 地域や関係機関には連携・協働することで信頼される学校	67%	33%	0%	0%	3.7	A	
4 児童生徒の様子や教育課題等について、 全体で「共有・共感」し、「共鳴・共育」する学校	67%	33%	0%	0%	3.7	A	
5 教職員が、特別支援教育に情熱を注ぎ、働きがいのある学校	67%	33%	0%	0%	3.7	A	

(A：適切 B：概ね適切 C：一部改善 D：要改善)

○その他、お気づきのことがありましたらご記入ください。

- ・皆さん熱心に取り組みされており、問題なし。
- ・これからも頑張ってください。

令和6年度 姫路特別支援学校(分教室)共同学習評価

	A	B	C	D	評価	達成 状況	昨年
1 交流及び共同学習の目標について、両校で共通理解ができ、計画や内容などについて、事前打ち合わせができていますか？	0%	0%	100%	0%	2.0	C	
2 交流及び共同学習の実施回数は適切ですか？	100%	0%	0%	0%	4.0	A	
3 両校の生徒の実態に応じた適切な内容ですか？	0%	100%	0%	0%	3.0	B	
4 両校の生徒が、積極的に楽しく交流でき、障害理解を図ることができましたか？	100%	0%	0%	0%	4.0	A	
5 交流及び共同学習の課題や成果について、両校で共通理解ができ、改善が図られていますか？	0%	0%	100%	0%	2.0	C	

(A：適切 B：概ね適切 C：一部改善 D：要改善)

A	B	C	D	N/A	回収数

1 各学部の【改善の方策】

○1) 小学部

学校評価の保護者アンケートの結果は、昨年度と比べるとすべての項目で評価が上がっていることから、今年度の取り組みを継続することが望ましいと考える。教職員アンケートの結果も、昨年度と比べると下がった評価項目はなかった。項目の12, 13, 27で昨年も今年もBの評価になっている。27に関しては、ほぼAの評価であるが、12, 13は、Bと感じている教員が多い。特に、13キャリア発達段階表に関してB, Cの評価が他の項目よりも多いことから、キャリア発達段階表を授業の中で活かせるよう、指導略案を書くタイミングで確認するなどの共通理解が必要であると考え。児童アンケートの結果は、「学校の勉強は分かりますか」の項目のみBで他はAであった。勉強を楽しんでいる児童が多いので、楽しみながらも分かったと感じられる工夫をさらに検討する必要がある。

○2) 中学部

学校評価の保護者アンケートの結果は、昨年度からすべてにおいて評価が上がっている。具体的には、人権、健康、感染対策、災害、環境整備、情報提供、相談機会、地域との交流、教員の専門性に関して評価がBからAに向上した。唯一B評価のままだった「社会参加に向けた授業づくりや進路指導について」は今後も進路指導部と協働しながら取り組んでいく。

職員アンケートの結果は、昨年度からすべてにおいて評価が上がっている。具体的には、防災、ICT、生活のルールやマナーに関する内容で、質の高い教育ができたという評価Aであった。また、保護者への情報提供や意見交換、教員間の連携・協働、専門性や実践的指導力の向上に向けた研修計画においても、A評価と向上した。現状維持のB評価である「キャリア発達段階表の活用について」は、活用時期が年度末のため、評価につながらなかったと考察される。

生徒アンケートでは、全てにおいてA評価であった。特に「係りの仕事はできていますか」の質問に対して4.0の高評価であった。

○3) 高等部

学校評価の保護者アンケートの結果は、昨年度に比べてすべての項目で高評価であった。特に、「安心安全な学校」のすべての項目について昨年度のBからA評価へと向上している。B評価であった「17. コミュニティ・スクールによる交流活動」については、今年度も様々な取り組みを行っており、保護者への情報発信に努めていくことで改善されると思われる。

職員アンケートの結果は、昨年度より下がった項目がなく全体的に高評価であった。評価が上がった項目として「防災」「専門性や実践力を向上させるための研修計画」があげられるが、全体計画に基づき実践されてきたことが高評価に繋がったと思われる。B評価である「キャリア発達段階表を活用した授業や進路指導」については、キャリア発達段階表について周知していくことや進路指導部と連携し、キャリア教育を意識した授業及び進路指導を実践していくことが必要で

あると考える。

生徒アンケートでは、学校生活に関する項目において概ねAであったことから、友だちや教師と良好な関係を築くことができていると推察できる。目標を立てて実行することや進路について自ら考えることについては、授業での取り組みの検討など今後の課題である。

○4) 分教室

姫路別所高校とのインクルーシブ教育においては、年に1回実施の共同学習や交流行事は多く実施できており、学校評価の生徒アンケートからも交流に前向きに取り組んでいる様子がわかった。今後は教育課程の連続性や学校生活と関連させて、お互いの正しい理解を深め、その後の日常生活における行動の変容を促すものにしたい。また、分教室と姫路別所高校の職員が、事前に目標と手立ての「検討・評価・見なおし」をし、教育効果が高まる体制を整えたい。

学校評価の生徒、保護者、職員いずれのアンケートからも、分教室全体で生徒の卒業後の就労に向け個別に最適な指導を心がけて取り組んでいることが伺える。今後も一人一人にあった指導内容で学校生活に実感・達成感を持ちながら自分が望む進路実現に向けて充実した時間を過ごしつつ、生徒が自信をもって、生きたい未来を生きていけるようにキャリア教育に取り組みたい。

今年度新たな取り組みとして実施した分教室カフェを来年度は3回年間計画し開催し、地域交流と検定学習を生かし自己有用感を高める取り組みを実施したい。学校評価では保護者への情報提供に関しては高い評価を得ているが、さらに分教室と地域の交流を多く情報発信していきたい。

○5) 訪問教育部

学校評価の保護者アンケートは、何名かの保護者からの回答はいただいているが、今の段階では結果が出ていない。

職員アンケートの結果は、全体的に高評価であった。昨年度の課題となった施設内での防災については、施設の防災避難訓練があった際は、職員も参加の方向で考えている。引き続き、施設との連携を行い、児童生徒が安心して学習できる環境を整えたい。

2 各校務部の【改善方策】

○1) 総務部

・防災体制への取り組みについては、保護者アンケート、教職員アンケートともにA評価であった。部会で話し合ったり、職員研修を実施したりする中で、総務部員全体の意識が高まり、いくつかの点の改善につながったと思われる。また、PTAから様々な助言や協力をいただいたことは、本校の防災力アップの大きな力となった。しかしながら、まだ改善すべき点も多く、人的、物的にハードルが高いと感じることも多い。様々な方面からの、ご指摘やアドバイスを受けながら考え、職員全体で共有していくことが必要と考える。

・引き渡し訓練については、職員アンケートなどに置いて、形だけになっている、もっと実際に即した訓練が必要との意見がある。保護者の協力が必要となるため、実際に大きな災害が起こったと想定して一斉に訓練を行うことには反対の意見があり難しいが、実際の場面で起こる混乱を想定して対策を考えておくことは必要である。少しずつでも考え、できる訓練を実施して備えていきたい。

○2) 教務部

指導計画作成についてAという結果が見られ大変嬉しい。先生方自身が「できた」と感じながら作成できていることが大きな進歩。県下統一様式になった時は大変だったが、新しい様式に慣れたら、県内どこの学校へ異動しても業務統一ができて働きやすさにつながる。

実態把握シート（自立活動）は項目数が多いので、「入力が大変」という気持ちだけ先生方に与えているかもしれない。シートを使いながら「いま、この段階です。次はこういう力を身に付けられると良いですね。」と保護者と話す際に実際に使用していくことができれば有用である。

教育課程編成については、一教員が触れる機会が少ない。「生活単元学習」で何と何の教科を合わせているのかなどを説明できるようになることが目標だが難しい。目標立ての際、学習指導要領を見て、「○学部○段階の目標を設定、次は…」という考え方をしたり、意識を向けたりできるようになることが目標なので、研修機会を設定していく必要がある。

キャリア発達段階表自体が、校内で埋もれている気がして、今年度HPにアップした。キャリアの4項目と発達段階ごとの目標がまとまっているので、活用されることを望む。

コミュニティスクール事業は学校評議員／学校運営協議会の皆様のおかげでR6年度さらにパワーアップした。活動を継続し地域の方々とのつながりを大切にしていきたい。

○3) 情報図書部

保護者アンケートの結果、概ねAの評価が多かったが、ICT機器を用いた学習についての項目がBの評価であった。学校では当たり前のように使っているICT機器をどのように日々の学習で活用しているのかが家庭からは見えづらい現状があるため、周知する方法を次年度に向けて考えていきたい。

教職員のアンケートでは、昨年度と比較して、全項目で評価が上がる、または維持されていたため、今年度の取組を継続していきたい。ICT活用の研修会の需要が多いため、次年度もニーズを把

握して実施を考えていく。

○4) 生徒指導部

保護者アンケートの結果は、概ねAの評価が多く昨年度から改善されてきているのでこのまま取り組みを継続していききたい。

生徒指導部は今年度、服装に関する通知文を改訂し、保護者に配付した。また生徒指導、特別指導の認識や方法がどんどん変化してきている。生徒指導部で特別指導についての規定、マニュアルの改訂に取り組んでいる。時代のニーズ、児童生徒のニーズに柔軟に対応していききたい。

18のBの評価については生徒指導部で来年度から生徒へのスクールカウンセラーのカウンセリング取り入れ、改善に取り組んでいきたい。

○5) 進路指導部

保護者アンケートにおいては、昨年度より良い評価を頂いた。

「進路だより」によるキャリア教育の取り組みや福祉サービスの紹介により、理解協力を頂けることにつながった。特に漢字検定の紹介により、継続して受検する児童生徒の参加につながった資格取得講座については、小野キャタピラー教習所と連携し、より取得しやすく需要のある「テールゲートリフター」の講座案内をしたが、希望者がみられなかった。資格取得講座のありようについては、次年度実施予定の「フォークリフト」の希望者数によっては今後実施していくか考慮していく必要がある。

○6) 研究研修部

人権に配慮した教育の実践に向け、ポジティブ行動支援を核とした研修を進めた。研究授業に関しては、応用行動分析の理論を用い、児童生徒への支援について言語化や図式化をはかり、職員間の共通理解や支援の一本化が進んだ。この理論の周知や継続した記録、支援の引き継ぎが課題といえる。研究研修部員への研修や希望者の研修を行い、内容をさらに充実させたい。

本校の職員に対して、資質向上をはかるためのミニ研修・自主研修を実施した。申し込みはグループフォームを使い、研修資料は公開して参加できなかった職員にも手に入りやすい形をとった。しかし、各学部の行事や実習があり、日程の設定が難しかった。月行事に研修日時を明記し、他の行事との重複を避けていきたい。

○7) 自立支援部

「交流及び共同学習」について、居住地校交流については教師の引率を2回までとし、負担の軽減を図る。オンラインの利用等間接交流の積極的な利用を促したい。学校間交流では小学部4年生の交流に変更した。ダンス等の交流で互いに楽しむことができた。中学部はボッチャ交流、ちぎり絵交流で互いの理解を深めることができた。高等部は共同学習を継続して行うことができた。

ルネス花北訪問相談は5回実施できた。引き続き啓発を行っていききたい。スクールカウンセラーの活用を分教室にも広げ、生徒保護者中心の活用に変更していく。自立活動の指導については時間の指導の充実について自立活動部員を中心に継続していききたい。

地域支援では市町教育委員会との連携で、継続した支援が実施できた。ケース検討だけでなく職員研修、保護者研修を実施できた。

啓発のための文書の発行はできなかったため、次年度は実施していききたい。

○8) 保健部

感染症拡大防止の対策として、学校においては、手洗い・うがいの指導、換気を実施し、各家庭においては、登校前健康観察のお願いをした。

健康な生活習慣の確立のための習慣・態度・技能を保健体育、生活単元学習の授業を通して行い、さらなる保健学習の向上につなげていきたい。また、児童生徒の健康に配慮した教育の充実を学校と家庭が連携して取り組み、定期健康診断の結果や保健だより、給食だより等を保護者へ配布し、情報提供をすることで今後も児童生徒の健康の保持増進を図っていききたい。

校内の安全点検を毎月末に全教職員で行い、校舎内外の修繕箇所を共有し、児童生徒が安全に学習や生活ができるように配慮した環境整備に取り組んだ。

3 評議員からの助言

特になし